

オリンピック・パラリンピック教育の理念	学校の教育目標	新宿区の基本方針
心身の調和的な発達を目指すとともに、国際理解を深め、平和な社会の実現に貢献する子どもを育成する。	○学び続ける人 ○心豊かな人 ○健康な人	東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とし、様々な取組みを通して、「知」「徳」「体」の調和的な発達を目指す。

幼・小・中を通じたオリンピック・パラリンピック教育の目標

○ボランティアにかかわる取組みによって、社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育む。
○障害者理解にかかわる学習によって、多様性を尊重し、障害を理解する心のバリアフリーを浸透させる。
○多様なスポーツへの興味・関心を高め、運動の楽しさ、フェアプレーやチームワークの精神をもった健全な子どもを育てる。
○日本の伝統文化への理解を深め、日本人としての自覚と誇りを身に付ける。
○世界の様々な国々の歴史や文化を学び、多様な文化を尊重し積極的に人々とかわろうとする豊かな国際感覚を養う。

オリンピック・パラリンピック教育を通して育てたい児童像

ボランティア活動などを通して自己の役割を自覚し、社会に積極的に貢献しようとする生徒。	障害者との交流を通して、目標に向けて努力することの大切さを考え、多様性を尊重しようとする生徒。	スポーツの役割や意義を理解し、日常的に運動を楽しもうとする生徒。	日本の伝統文化に触れ、自国の文化を大切にし、その良さを発信していこうとする生徒。	世界の国々の歴史や文化を理解し、尊重していこうとする生徒。
--	---	----------------------------------	--	-------------------------------

オリンピック・パラリンピック教育の指導方針

ボランティアマインド	障害者理解	スポーツ志向	日本人としての自覚と誇り	豊かな国際感覚
・地域にある行事や防災訓練等において、自分たちにできることを考え、積極的にかわろうとする態度を養う。	・障害者スポーツ体験を通して、目標に向かって努力することの大切さに気付くことができるようにする。	・ダブルダッチの取組み等を通して、体を動かすことの楽しさに気付くことができるようにする。 ・運動やスポーツがもつ多様性や心身に与える成果等について理解することができるようにする。	・自国の文化や地域的な特徴を調べ、地域や日本の魅力を発見し伝えていこうとする態度を養う。 ・伝統文化を実際に体験する活動等を通して、日本人としての自覚や誇りを養う。	・世界の国々の生活や文化についての理解を深められるようにする。 ・留学生との交流などを通して、他国の様々な生活習慣や文化への理解を深め、尊重していこうとする態度を養う。

保護者や地域、関係機関との連携

地域の町会や保護者との連携	車いすバスケットボール選手との交流	ダブルダッチ協会からの講師派遣	伝統文化関係団体との連携	留学生との交流
---------------	-------------------	-----------------	--------------	---------

体力向上に向けた目標

第1学年 男子	第1学年 女子	第2学年 男子	第2学年 女子	第3学年 男子	第3学年 女子
3年連続で、都平均を下回っている長座体前屈を平均まで引き上げる。	都平均を下回っている長座体前屈を平均まで引き上げる。	都平均を下回っている長座体前屈を平均まで引き上げる。	長座体前屈、立ち幅跳びが都平均を下回っているため、平均まで引き上げる。	ボール投げが都平均を下回っているため、平均まで引き上げる。	持久走が都平均を下回っているため、平均まで引き上げる。